

第11号  
No.11

平成30年11月1日発行  
November 1, 2018

特定非営利活動法人東京モンテッソーリ教育研究所

T. I. M. E.

Tokyo Institute of Montessori Education

<http://montessori.or.jp/>

Chair Person Tamako Amano General Secretary Kazumi Aoki

理事長 天野珠子 事務局長 青木和美

Editors Ph.D. Masako Ejima Kazuko Hotta

編集委員 江島正子 堀田和子

〒112-0002

東京都文京区小石川2-17-41

富坂キリスト教センター2号館内

Tomisaka Christian Center 2

2-17-41 Koishikawa

Bunkyo-ku, Tokyo, Japan

Tel. 03-5805-6786

Fax. 03-5805-6787

## 巻頭言

### 人間の多様性と教育について



東京コース コース長 前之園 幸一郎

モンテッソーリは、「人間は文化的に高度の発展と進歩を遂げたが、しかしながら本来人間は自然の一部に属している。特に幼児は心身の発達のために自然を必要としている」と述べています。『モンテッソーリ・メソッド』これは人間が生きものであることに注目するように訴える100年前のモンテッソーリのメッセージです。彼女のこの自然観は今日ますますその重要性を増しているように思われます。それはなぜでしょうか。今日、私たちは科学技術の発展とともに便利で快適な生活が享受できるようになりました。そしてビルや駅の地下街では終日人工照明のために昼と夜の区別がつかない生活が普通になっています。しかし、本来生きものである人間の本性から考えるとこの技術的進歩によって生まれた現状は必ずしも手をあげて歓迎すべきものではないからです。私たちは科学技術の進歩によって画一性、効率性、経済的成果の追求の渦の中に呑み込まれようとしています。

モンテッソーリによると「子どもは自然によってそれぞれに定められた内部的な発達のプログラムにしたがってその人格を形成」します。『幼児の秘密』子どもは一人一人みんな個性的な独自の存在として生きています。したがってその発達のためには多様性に富む子ども各自の個性的な発達の過程を重要視した援助が大切になります。モンテッソーリ教育によって個性的で主体的な成長を遂げた地球各地に生きる子どもたちが一つに結びついて人類全体の人間の有機体を実現する希望と可能性を与えてくれるからです。このような教育は技術文明が追求する標準化や効率性を求める方向とは異なるものです。

ここで改めて多様性についての着目が重要になります。近年インクルーシブ教育の問題が真剣に論じられるようになりました。これは多様性の中で多様性を通じて様々な能力や言葉や文化の違いの壁を乗り越えて一致して幸福を追求しようとする動きだと言えます。この「多様性における一致」の視点はモンテッソーリが宇宙的ヴィジョンにおいてすでに提起している主要課題の一つであり私たちに課された今日的な宿題だと考えます。

## 追悼

### 松川和照先生追悼文



松川和照先生

昨年度(2017)より富坂で土曜コースを開講できたのは、松川先生からの分室提案による4年間の実績経験のお陰でした。いつもお元気で精力的に保育園と保育者の質の向上に熱意をもってご活躍なさるお姿を尊敬しておりました。

まだまだモンテッソーリ教育の普及と発展にご指導頂きありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

東京モンテッソーリ教育研究所  
理事長 天野珠子

### 「追悼・富坂先生」

5月5日、病氣療養中だった文化担当講師の富坂洋子先生がご他界されました。2012年度より6年間、たくさん子ども達との経験のもとに、優しい笑顔と声で生き物や生命の歴史について話されました。昨夏の全国大会で、文化を一緒にご紹介できたことが、最後の思い出となりました。

ご冥福をお祈り致します。

コース文化担当  
木村悦子



富坂洋子先生

## 松川和照理事長を偲んで

つづきルーテル保育園 園長 柳澤ナオミ

父である松川和照は、6つの保育園からなる「イクソス会」の理事長であり、いつもバイタリティに溢れた人でした。昨年8月に倒れ、すぐに手術となり、約ひと月寝たきりの生活を余儀なくされました。今まで一人であちこち歩いていた父にとって、病院のベッドに居るのはどれ程苦痛だったことでしょうか。

ある時、父に（入院したことを）「どなたかにお知らせした方が良いのではないかしら？」と聞いたところ、父は「いいんだ。誰かに伝えれば、伝えた人が責任を感じて重く感じるだろう？このままでいいんだ。」と言いました。残念でしたが、病気は緩やかに、そして確実に父を支配していきました。父の想いを汲んでどなたにもお知らせせず、そのまま亡くなってしまった事をお許しください。イースターが終わり昇天主日の5月13日穏やかに静かに息を引き取りました。父はこの日に逝こうと決めていたように思います。

皆さんの中では、記憶に新しいかもしれません。第47回の全国大会の大会実行委員長の時の元気な姿の父を思い起こしていただければ、父もきっとそれを喜んでいることと思います。時にワンマンで強引に感じる様なこともあったかと思いますがそこはご容赦いただき、手前味噌ですが、父という唯一無二な存在を、折に触れ話題に挙げていただけましたらそこにはきっと父もおり、笑顔で話に耳を傾けている事と思います。

父が40年以上前にモンテッソーリ教育にほれ込み築いてきたルーテル保育園。

これからはイクソス会法人全体が父の遺志を継ぎ一丸となって頑張っていく所存です。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## テーラーメイド教育

わかば小児科クリニック 院長

東京コース 理論講師 宇塚里奈



近年、医学の世界ではテーラーメイド医療という言葉をよく耳にします。がん治療の際に、使われることが多いのですが、以前のがん治療は、がんの発生部位や細胞の種類によって抗がん剤の種類を使い分けていました。最近では、その人の体質や、同じがん細胞でも、その細胞が発現する遺伝子によって治療の効果が異なり、副反応の強さも異なることが分かってきました。そこで、同じ部位のがんでも、個人によって最適な薬を選び、副反応をできる限り小さくするような治療が組み立てられるようになりました。これをテーラーメイド医療と呼んでいます。

教育界でも生徒一人一人に合わせたカリキュラムを組み立てるテーラーメイド教育やオーダーメイド教育という言葉があるようですが、モンテッソーリ教育こそ、まさにテーラーメイド教育そのものだと思います。

大人がわざわざカリキュラムを組み立てなくても、いくつもの教具の中からお子さんたちが好きな教具を選びます。お子さんによっては、一つの教具に長い時間取り組む子もいれば、次々と多くの教具に取り組む子もいます。これこそ、自主的なテーラーメイド教育です。

一方、一斉教育では、同じ教具ばかり長い時間、繰り返し使うお子さんは、自閉症スペクトラム。次々に教具を変えて気が散りやすいように見えるお子さんは、多動症を疑われることになりかねません。

テーラーメイド教育のモンテッソーリ教育では、お子さん其々が、自分のペースに合った充実した時間を過ごしているにすぎず、発達障害のレッテルを貼る必要もなくなります。

発達障害では、早期の対応が大切だといわれますが、これは、がん治療の早期発見、早期治療とは、全く違います。発達障害の早期発見は、早期薬物治療のためではありません。お子さんが自分ではコントロールできない事で頻繁に注意され、自尊心を失う前に早期の環境整備が必要という意味です。

テーラーメイド教育では、敢えて環境整備をする必要もなく、障害のある、なしに関わらず、環境はすでに整っているのです。

今まで以上に、多くのお子さんが、モンテッソーリ教育を通じて、テーラーメイド教育を受けるチャンスが増えれば、発達障害と診断されるお子さんも減り、自尊心を傷つけられるお子さんも減少するはずですよ。

小児科医として、一人でも多くのお子さんがテーラーメイド教育と出会えることを心より願っています。

## 第10回 実技研修会報告

平成30年8月25日（土） 10:00～16:00

恒例になりました上智・東京コース実技研修会、今年の領域は感覚教育でした。45名の沢山の方が参加して下さいました。

今回は、視覚の中の色について、教具の提供では3色の色板から9色の濃淡の色板までを紹介し、美術教育にも繋げていきました。

3原色（赤・黄・青）を使い全員で色水を作って、それを色環に並べて色の美しさ流れ楽しんだり、色のしみ具合等を体験しました。制作では、皆さん楽しんで色水作りのチャートを作っていました。参加者からは「改めて視覚から受ける刺激の大切さが再確認できた。」と言う声も聞かれ充実した研修になりました。

感覚教育担当講師 小川かおる





## 第13期入講の皆様へ



富坂まきば保育園統括園長 金子恒一

東京教員養成コースへのご入講、誠にありがとうございます。全世界で110年に渡って取り組まれてきたモンテッソーリ教育の新しい「担い手」となるため、これから2年間、文字通りの訓練をお受けになる皆様に、心からの敬意を表したいと思います。

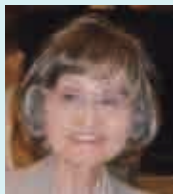
いつの時代でも子ども達を育てる働きの大切さは変わりませんが、その子ども達にどう向き合い、どう育てていくかという教育観は、時代時代によって大きく変わりつづけてきました。時代の変化と、またその先10年、20年先のさらに変貌を遂げているであろう次の社会をも遠く見据えながら、その担い手となるべく子ども達には大きな期待が掛けられるわけですが、残念ながらそこにはいつも大人の都合や社会の論理ばかりが押し付けられてしまうということが多々生じてきました。

そのような中で、子どもへの深く豊かな「愛」を基盤にした取り組み、子ども達が自発的に積極的に取り組めるようにあらゆる配慮と工夫を重ねたモンテッソーリ教育の試みが110年間も続けられてきたということには、私のような門外漢の者でも、深い感銘を受けるものです。

このために蓄積されてきた教育法をたやすく習得することは、もちろん簡単ことではないでしょう。私共の職員のうち1人もこの3月に修了させていただきましたが、文字通り最後は泣きながら課題に取り組んでおりました。本日に東京コースの先生方は手を抜かない、一切手を抜かない、これが私の一番の印象です。

しかしだからこそ、私の身近にいるこのコースを卒業した方々が、コース修了後何年経てもこの厳しい訓練を受けたことを大変誇りに思われていること、そしてモンテッソーリ教育法の担い手としての大きな責任感をもって取り組まれている姿を目の当たりにすると、すっと納得できるわけです。

多くの皆様は、保育現場を持ちながらの通学という、ただでさえ大変なことに取り組まれるわけですが、全世界で活躍する数多くのモンテッソーリアンに連なる1人として誇りと喜びと責任と、そして何よりもマリアモンテッソーリ同様の「子ども達への深い愛情」をもって今後益々励んでくださるよう、願っております。そしてここにいらっしゃる一人一人に、職場でも、そして学びの場でも、いつも平安がありますよう、お祈りしております。



## うまずたゆまず共同奉仕の日に感謝

上智・東京コース同窓会会長 松本良子

40年前、当時コースは夜学の1年制。会場は上智大学・うめだ子供の家。受講生は幼稚園・保育所勤務者。みな学習意欲は旺盛でした。そのうち、個人立幼稚園副園長の有志数名が中心となり、同窓会誕生。以来総意の多角的研修会を継続中が現状です。然し最近、入会は義務？の発言者入会拒否者や1年間のみ会員出現に特効的手段はある筈無しが現状。但し、同窓会真の意義伝播のため、役員、委員共々心を合わせて微力乍ら努力中です。

### 特別講義

## 学びが厭われる教育を越えて - 本来の学びへの回帰 -

2018年9月19日 水曜日 18:00～20:00  
こじか「子どもの家」発達支援センター 佐々木信一郎先生

第51回全国大会の実行委員長でいらした佐々木信一郎先生をお招きして、特別講義が行われました。学びの回帰という視点から、昨今のモンテッソーリブームの火付け役でもある藤井聡太7段や各界の著名人をあげ、彼らの受けたモンテッソーリ教育が持て囃されているが、これらの因果関係は統計学的に証明は出来ず、では何が彼らの力になったかという事をその時代に受けた教育変遷の中で、偶々その時代にモンテッソーリ教育を通して身についた非認知能力が、彼らの人間形成を育む大切な土台となっている事を様々な実践データから例をあげてお話して下さいました。又、日本における学校教育の変遷も同じくして、周期的に認知教育と非認知教育が繰り返し進展されている事の説明。その中で、モンテッソーリ教育の役割は、系統主義教育と経験主義自由教育の両方の存在により、子どもは生きる力を持ち、主体的に考え基礎学力の優れた子になる事、学びの楽しさを体得できる事などを熱心にお話になられました。マスコミによる商業ベースに乗せられない本来のモンテッソーリ教育の大切さが大変心に響いた時間でした。

支援事業担当理事 小川かおる



〔補足〕 本文は日本モンテッソーリ協会(学会)編『50年のあゆみー昨日、今日そして明日へー』に掲載されていない所の補足です。

東京コース主任 堀田和子



東京モンテッソーリ教育研究所付属教員養成コースは、上智モンテッソーリ教員養成コースを引き継ぎ、平成18年4月に開講しました。

平成18年4月 第1期生 36名 入講

教場は、富坂キリスト教センター第2会議室を、1年次生の授業日のみ使用することとして授業を開始しました。

授業が終わると教具棚を元通りに直し、36人分の席が確保できるよう考え、絨緞を敷くのに四苦八苦しただのを思い出します。

試験前には各講師の施設園を提供して、練習に励んでいました。

2年次生は上智大学で引き続き授業しており、富坂と並行して行いました。

平成19年3月最後の上智コース34期生を無事送り出しました。

幸いなことにキリスト教センター別館の図書室を改装してコース専属の教場として借りることができ、上智大学のご好意により、すべての教具、その他備品ももらいうけ、3月いっぱい新しい教場環境設定など皆で知恵を出し、4月には第2期生を迎えることになりました。格段に使いよくなった教場で講師、学生とも喜び合い現在に至っています。

この間、平成23年3月にコース長であるクラウス・ルーメル先生が御昇天し、同年4月には前之園幸一郎先生がコース長に就任しました。平成26年4月には戸塚分室を、28年には横浜金沢分室を開講し、平成30年3月には第11期生31名が修了しました。平成30年4月には 富坂土曜コースを開講し、第13期生31名を迎え入れ、2年次生18名、科目履修生2名と共に現在に至っております。

これまで 応援し支えて下さった関係者の皆様、学生たちに感謝して報告を終わります。

完

## 図書紹介

堀田はるな著

### 『モンテッソーリ・メソッド —自律した子のすべて—』

あさ出版、2018年、271頁。

群馬医療福祉大学大学院教授  
理論 文化講師 江島正子



上智コース母体にした東京コースを卒業し、日本モンテッソーリ協会のディプロマ取得者の筆者は「原宿子供の家」とすみれが丘子供の家の教員、保育士で、そこでの教育的体験をもとに本書が書かれています。

筆者は幼児教育にたずさわる前はアパレル業界や、アマゾン・ジャパンのオンライン・マーケティングでマーケティング企画やPR 関連で活躍していたのが、結婚を機に、教育の道に転身しておられるので、モンテッソーリ教育についても着想のあり方がユニークです。

なお、監修者は上智コース時代からモンテッソーリアンとして幅広く活躍しておられる堀田和子さんです。

## 東京モンテッソーリ教育研究所 平成29年度収支決算

収入の部		単位:円
入会金		
個人		0
団体		0
会費収入		
個人		230,000
団体		10,000
事業収入		
教員養成事業		15,790,771
指導者支援事業		286,500
広報事業		0
雑収入		
受取利息		779
雑収入		990
経常収入合計		16,319,040
支出の部		
事業費		
教員養成事業		9,188,273
指導者支援事業		277,852
広報事業		195,310
管理費		
人件費		266,654
外注委託費		1,470,000
会議費		42,000
旅費交通費		10,894
通信運搬費		135,117
消耗品費		44,800
光熱水費		32,389
賃借料		314,301
租税公課		358,475
雑費		165,321
経常支出合計		12,501,386
当期収支差額		3,817,654
前期繰越収支差額		29,702,575
次期繰越収支差額		33,520,229

平成30年4月26日 上記の通り相違ありません。事務局長：青木和美

## 平成29年度研究所活動報告

- 会員の動向 (平成30年3月31日現在)
    - 新規入会 正会員 個人 なし 賛助会員 なし
    - 退会会員 正会員 個人 なし 賛助会員 なし
    - 会員数 正会員 個人 23名  
賛助会員 1団体 (2口)
  - 活動報告
    - 教員養成事業 平成29年4月 第12期生 18名入講  
平成30年3月 第11期生 30名修了
    - 指導者支援事業
      - 平成29年8月日本モンテッソーリ協会(学会)第50回全国大会 ワークショップ開催  
会場：都市センターホテル 会議室601
      - 平成29年8月 第9回実践実技研修会開催、  
於 富坂キリスト教センター1号館第1会議室  
「日常生活の活動」
      - ホームページ等による広報事業  
「モンテッソーリ教育」(学会誌)第49号に広告掲載、平成29年11月に「T.I.M.E.」第10号を発行。ウェブサイトを通し、広く一般に東京モンテッソーリ教育研究所及び、付属教員養成コースの活動を発信し、モンテッソーリ教育の普及活動を行った。http://montessori.or.jp/
- 以上  
事務局長 青木和美

## 編集後記

今年のT.I.M.E. 第11号は大変実り豊かで、素敵な内容になっています。これは東京コースがより一層の進化をとげていることを現しているのでしょうか。福島全国大会の実行委員長・佐々木信一郎先生が特別講義をなさり、モンテッソーリ教育の不思議な秘密について話されましたが、その後、私は福島へ行き、発達支援センター「こじか〈こどもの家〉」を見学してきました。自閉症や発達障害のある子どもたち一人一人のいのちが輝く時間を実際に見てきました。 江島正子

## 平成31年度入講生募集のお知らせ

- 募集定員：夜間コース、土曜コース 各25名  
出願期間：平成30年12月1日(土)～  
平成31年1月16日(水)  
出願書類：願書・受験票(所定用紙・写真添付)  
最終学校の卒業証明書又は、卒業見込証明書  
選考料(15,000円)の振込み金受領書のコピー  
選考日程：平成31年1月20日(日)午後1時集合  
場 所：富坂キリスト教センター  
内 容：小論文(レポート)・面接

※詳細・入講案内は事務局までお問い合わせください。

Tel. 03-5805-6786 Fax. 03-5805-6787

Email: info@montessori.or.jp